

# H29年度指導方針および年間計画

**ミッション**：夢を持ち続け礼節を重んじる大人になる為の少年育成

**スローガン**： **一球入魂!**

ワンプレーワンプレー本気にミスを恐れず全力で!

## 剣指導方針

- 1 挨拶がしっかり出来るように指導する。返事は必ず出来るように指導する。【礼節のある子供に】
- 2 グランド・道具にも感謝を込め、整理整頓清掃整備をしっかりする。【規律正しい子供に】
- 3 精神は体で鍛える。自己が強くなれば周りには優しくなれる。忍耐力もつき諦めなくなる。【強靱な精神力】
- 4 俊敏性を養い、機敏に動けるよう訓練する。【神経系の発達】
- 5 背伸びせず、出来ることを確実に野球の基礎を習得させる。繰り返しの重視。【生涯野球を楽しめるように】
- 6 体を動かす為に確認と準備ができるよう指導する。【準備と確認】

## はじめに

スポーツを行う上で心・技・体はすべて大事ですが、あくまでこころが先であり、その下にわざがあり、それを支えるからだが必要になってきます。ですからできるだけ身体づくりをし、厳しいトレーニングや心の休まる暇のないスケジュールで精神も鍛えて行きたいとも思います。とはいってもまだまだ軟弱な小学生ですのでそこら辺はバランスを取りながらバッチリ鍛えます。

勝ち負け以上に心の成長が大事ですが、勝利を得ることで心の成長があることは多々あります。**勝負に勝って成長し、負けても成長するそんな雰囲気づくりをしていきたいです。**

勝ったら勝った要因を、負けたら負けた原因を考えられるよう心の成長が成し遂げられたらと思います。

そう、見せかけの勝利ではなく、こころとともに勝つ。そこを目指して進みます。

## 指導方針(星野)

良いプレーには賛辞を、怠慢プレーには叱咤を練習ではメリハリをつけて指導します。

特に厳しく指導したいのは本気で取り組んでいるかどうかです。例えばだらだらキャッチボールしている、試合中にペチャクチャしゃべって集中していない、道具の後片付けをダラダラやっている等です。プレーに関しては簡単に吸収する子もいれば頑張っているもなかなか吸収できない子もいて個人差があります。ですが取り組み方に関しては気持ち一つのもちようでなんとでもなるはず。これらのことを徹底しなければこの先この世界にいても

通用する人間にはなりません。ここはとことん厳しくしていきたいと思っています。もちろんプレーに関してもまずいプレーは追及し叱咤をしなければいけないことも多々あると思います。ただリーグ戦をはじめとする公式戦に関しては試合中に手痛いミス(余程の怠慢プレーは別)があったとしても基本的にその場で叱咤はせず試合終了後に話をしたいと思っています。試合中叱咤することで萎縮し本来のプレーを見失ってしまうと練習の成果も出せず、試合をやっている意味がないと思うからです。自分の理想は練習ではメリハリをつけて締めるところは締め、厳しくするところは厳しく、試合は楽しんで盛り上がり勝利することです。2016年に自分が理想とするゲームがありました。入新井卒業大会 1 回戦沢田クラブジュニア戦です。この試合は指導者が特に何をいうでもなく旧6年生たちが自らの意思で味方選手を鼓舞し、それに呼応した下級生メンバー達も盛り上がりベンチメンバー全員チーム一丸となって勝利を目指し、堂々と全力でプレーし実際に勝利を手にした最高のゲームでした。2017年もこの試合のようなゲームを一つでも多くできるようにしていきたいと思っています。

#### 指導方法

##### 【メンタル】

指導とは導くことですが、私は子どもたちに常に自分で考え行動するようしていきたいと考えています。一生懸命野球に取り組み、心の軸をつくりあきらめないで立ち向かうことを伝えるため走らせます。

##### 【フィジカル】

体力面については体を動かすことに喜びを得られるよう楽しく厳しいトレーニングを行なう。

##### 【全体を通して】

各選手の強化したいところや弱点を精査し、何が出来て何が出来ないか現実を知らせる。本人に意識してもらいより効率をあげて上達育成させる。

#### 全体

元気に大きな声、常に考える予測と判断、仲間を思うフォアザチームの行動・声かけ、基本の徹底・反復

#### 攻撃

フルスイング、全力走、次の次の塁を狙う、考えたスライディング、攻撃的なコーチャー

#### 守備

一歩でも前に出て攻めの守備、強く投げる

#### 目標

入新井卒業大会3位以上

多摩川卒業大会3位以上

大田区1回戦突破

大田区新人戦2回戦突破

入新井新人戦3位以上

Aリーグ4勝

Bリーグ3位以上